

こさい

# 議会だより

No. 184

9月定例会

平成30年10月31日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

特集

農業振興協議会 × 総務経済委員会



キャベツ



菊



早生ミカン



セルリー



- 4 平成29年度各会計決算を認定
- 9 そが聞きたい!!一般質問
- 14 視察の成果を市政に生かします

米



杉浦 智景  
(キャベツ、セルリー、メロン)



松井 一徳  
(副会長・イチゴ)



三浦 克明  
(会長・ミカン、エンドウ)

## 特集

# 農業振興 協議会 × 総務経済 委員会

総務経済委員会では、人口減少・少子高齢化により税収が減り、財政が厳しくなることが予測される中、湖西市の産業について、これまでのように自動車産業だけに頼っていくのではなく、他の産業もますます発展していく必要があると考えています。そこで、今回は「農業」の分野の現状について、湖西市農業振興協議会理事の皆さまにお話を伺いました。

### 《湖西市の農業の現状はいかがですか》

湖西市は温暖な地域でなんでも作れてしまうので、代表する作物がなく、長いこといろいろな野菜を作ってきました。その中でも菊は安定的に続いています。近年はキャベツの値段が良いので、白須賀地区の空いた土地をキャベツ畑として耕作しています。近頃では、複数の作物を少量ずつ栽培する「多品目販売方法」に取り組む農業者もいます。

サトウエンドウは全国シェア90%、コデマリは全国シェア80%を占めています。

北部地区ではミカンがメインに作られ、ミカンのない時期は花卉栽培を行っており、白須賀地区ではキャベツ、セルリーなどを作っています。新居地区は大規模で作っている人がいなくなったので、そこ入れをしていく必要があります。

こさい議会だより (特集 農業振興協議会×総務経済委員会) ●●● 2



菅沼 厚子  
(スプレー菊)



杉浦 寿宏  
(ミカン)



菅沼 純一  
(水稲、花)



伊藤 行男  
(監事・花)



谷中 正博  
(小松菜など多品目)



鈴木 真聡  
(養豚)

敬称略、( )内は主な農作物

### 《白須賀地区で盛んなセルリーについてはいかがですか》

セルリー農家は、昔は少なかったですが、後継者も入ってきて大規模になりました。セルリーは湖西市、浜松市の北地区、西地区、浜北地区で生産されていますが、現在は湖西市が県下第2位の生産量です。

流通は農協を通して行っています。ロットが大きなものは地元にはおらず、都市部の市場へ出荷されます。大量生産されているものは市場に出さないと安定的な収入にはならないためです。

イベントをやると、畑でとれたてのセルリーを子どもが1本食べてしまいます。鮮度の良いみずみずしいものは、野菜嫌いの子どもでも食べるので、農家はおいしさを伝えていなくてはいけない。地元の小中学校での体験学習や給食に取り入れるなど、やっていけるといいと思います。

### 《ミカンの状況はどうですか》

今の時期(9月)、出荷しているものは「ゆら」という早生ミカンです。ミカンは北部で栽培されていますが、ネームバリュー(評価されていること)がないと値段に天と地の差があります。単価100円と105円という、少しの違いでも、何千個、何万个売るので収入が変わってきます。売れるものを作っていかなければいけない。後継者も必要で、後継者がいないと農業の拡大はしていけないと思います。

### 《収入の安定化についてどのようにお考えですか》

キャベツ農家は後継者がたくさんおり、ここ数年は利益も出ている状況です。約10年前の中国産冷凍ギョーザ事件で「食の安全」の視点から、外食産業が日本産を重視する傾向になりました。野菜の販売方法もロスがない「カット野菜」が多く店頭に並びようになっています。農家の販売方法も手間が省ける「契約販売」が増えてきており、これは農協とキロ単価で業務契約するというものです。

湖西市は工場などの働く場がたくさんあるので、農業が儲からないのなら他の働く場へ行った方がいい、となってしまうので、農業収入の安定化は重要課題だと考えています。

今回の意見交換会を終えて、総務経済委員会としても、市の産業振興のために更なる尽力をしていきたいと感じました。



彦坂 初保  
(キャベツ、セルリー、メロン)



佐原 理之  
(コデマリ)

## 平成29年度各会計決算を認定 幼小中学校へのエアコン整備に 係る調査費など補正予算を可決

### ◆議案・請願一覧◆

議案番号	内容
85	湖西市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
86	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
87	湖西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分承認を求めることについて
88	湖西市議会議員及び湖西市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について
89	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制定について
90	市道の路線の認定について
91	平成30年度湖西市一般会計補正予算(第2号)
92	平成30年度湖西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
93	平成30年度湖西市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

### 人事案件

#### ◆教育委員会委員

(議案第85号)

任期満了となる河合禎隆よしたか氏(大知波)を引き続き選任することに同意した。

#### ◆人権擁護委員

(議案第86号)

新たに池田定子さだこ氏(入出)を推薦することに同意した。

### ◆定例会の概要

〔9月3日〕9月定例会が招集され、開議に先立ち、損害賠償の額の決定及び和解について及び平成29年度湖西市財政指標について報告を受けた。開議後、会期を10月3日まで31日間と決め、市長提出18議案のうち、人事案件2議案を同意、専決処分1議案を承認し、その他の議案について説明を受けた。そのうち平成29年度一般会計決算については、決算特別委員会に付託した。その後、請願1件について紹介議員の説明を受け、総務経済委員会に付託した。

〔9月10日〕5人の議員が一般質問を行った。

〔9月11日〕5人の議員が一般質問を行った。

〔9月12日〕4人の議員が一般質問を行った。

〔9月18日〕議案に対する質疑を行い、条例の一部改正・補正予算など8議案を原案のとおり可決し、平成29年度各会計決算を各常任委員会に付託した。また、市長から追加提出された条例の一部改正1議案、議会運営委員会から追加提出された1議案を可決した。

〔10月3日〕常任委員会・特別委員会に付託した平成29年度各会計決算計7議案及び請願の委員長報告を行い、認定・採択した。その後、総務経済委員会から追加提出された意見書1議案を可決し、9月定例会を終了した。

### 議案第89号

#### 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正

「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制定について」を賛成多数にて可決した。

この条例は、市に産婦人科医院を誘致し、開設のため支援していく方針であることから、普通財産を無償貸付けできるように条例を改正するものである。

### ◆本会議での質疑◆

#### 問

有償貸付へ切り替える時期などは契約時から考慮されるのか。

#### 答

産婦人科医院誘致のための普通財産は、10年間の予定で無償貸付する。期間の経過後は、産婦人科医院の経営状態を勘案した中で、売却又は有償貸付への切り替えを行う方向で考えている。

願号 請番	内容
1	平成31年度税制改正における自動車関係諸税の抜本見直しを求める 請願
105	平成31年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
104	議員派遣について
103	平成31年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
102	平成29年度湖西市病院事業会計決算認定について
101	平成29年度湖西市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
100	平成29年度湖西市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
99	平成29年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
98	平成29年度湖西市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
97	平成29年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
96	平成29年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について
95	平成30年度湖西市公共下水道事業会計補正予算(第2号)
94	平成30年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

審議結果については、全議案を原案可決(人事案件の「同意」、専決処分の「承認」を含む)した。また、賛否が分かれた議案についてはP8を参照。

議案第91号

一般会計補正予算を可決

平成30年度湖西市一般会計補正予算(第2号)を全員賛成により可決した。

今回の補正により、予算額は7,847万8千円増額され、総額204億1,691万6千円となった。

補正(第2号)の主な内容

〔歳出〕

● 商工業振興費

市内中小企業の事業承継問題を把握するため、委託料を計上

124万8千円

● 道路新設改良費

鷺津踏切が踏切道改良促進法により改良すべき踏切道として指定され、平成32年までの事業実施が義務付けされたため、委託料を計上他

1,532万円

● 学校整備費・幼稚園整備費

幼小中学校への空調設備整備に係る検討資料作成のため、手数料を計上

115万5千円

◆ 本会議での質疑 ◆

事業承継問題の調査の目的、調査項目、調査の期間、調査方法はどのように行うのか。

答

事業承継について周知し、市内の中小企業などの現状や事業承継に対する意識などを把握し、問題解決に向けての課題を明確にするため、簡単に答えられる内容で、平成30年10月末頃から11月末頃に、湖西市及び新居町商工会の会員で、概ね50人以下の従業員を雇用している市内事業者、約1,200件を対象にアンケート調査を実施し、平成31年1月末頃に、集計及び分析を行う予定である。

問

踏切改良工事の概要と歩道は確保されるのか。

答

今回、計上した委託料は、鷺津踏切を国土交通省令で定めた踏切道改良基準に適

合した踏切道とするため、ソフト・ハード両面からの対策検討に活用するためのもので、工事の概要については未定である。

問

空調設備に係る検討とは、どのような調査をするのか。また、環境整備に向けて、財源見通しはどのように考えているか。

答

教育環境の改善を図るため、市内幼稚園、小中学校の空調設備の整備に係る事業費、事業手法などの調査・検討を行うものである。

整備費については、概算費用は約11億3千万円になると見込まれ、現行の国の補助は、学校施設環境改善交付金があり、その他財源は市債などの活用が考えられるが、調査結果と財政状況を踏まえ検討する。

平成29年度各会計決算を認定

平成29年度一般会計決算・特別会計・企業会計の決算審査を行い、認定した。なお、一般会計決算審査については、決算特別委員会を設置・付託し、2日間にわたり審査を行った。

委員長 ● 吉田建二

副委員長 ● 渡辺 貢

委員 ●

- |      |      |
|------|------|
| 福永桂子 | 菅沼 淳 |
| 土屋和幸 | 高柳達弥 |
| 楠 浩幸 | 佐原佳美 |
| 加藤弘己 | 竹内祐子 |
| 荻野利明 | 馬場 衛 |
| 牧野考二 | 中村博行 |
| 神谷里枝 |      |

また、国民健康保険・後期高齢者医療事業決算については総務経済委員会に、介護保険・病院事業決算については福祉教育委員会に、公共下水道・水道事業決算については建設環境委員会に付託し、審査を行った。

平成29年度各会計決算 (単位:円)

会計区分	決算額	
	歳入	歳出
一般会計	21,796,115,230	20,347,952,972
特別会計	国民健康保険事業	6,824,569,619
	介護保険事業	3,934,803,095
	後期高齢者医療事業	611,384,831
	公共下水道事業	1,641,833,244
企業会計	収益的収入	収益的支出
	1,240,507,982	1,044,030,010
	資本的収入	資本的支出
	6,316,000	294,294,124
	収益的収入	収益的支出
	3,459,167,003	3,405,865,898
	資本的収入	資本的支出
	407,452,000	445,721,470

決算特別委員会の審査

歳入

問 個人市民税 当初予算との乖離要因は。

答 平成28年度の課税状況報告などにより、個人所得の減少傾向が続くことが予想され、個人市民税均等割・所得割について、平成28年度当初課税額の3%減とし、収納率を97%と見込んで予算計上した。実際は、前年度並みの課税額、収納率は98.8%であり、当初予算より1億6千万円強の増額となった。

歳出

問 障害児者相談支援事業の成果と課題、行政との報告・相談・連絡の状況は。

答 事業の成果は、福祉サービスの利用や医療の受診に繋がったり、困難事例発生時には相談者宅の訪問や個別ケア会議が実施できたことなど。課題は、利用者が少ないことだが、相談数は伸びている。報告・相談・連絡は、事業者からの日報・月報・年報を、担当へ手渡しで提出しているため、その都度内容を確認している。

問 DV相談の成果と課題は。

答 平成29年度相談人数は14人。警察、女性相談センターと連携により一時保護し、危険を回避し安全を確保するまでに至る事例もある。課題は、被害状況の見極めや実態把握が難しいこと。精神的な不安定要素や精神疾患を抱える相談者の対応などである。

問

女性活躍推進業務委託による再就職支援などの成果は。

答

女性再就職支援事業参加者42名中、8名が就職。就職には至らなくとも、前向きに活動を始められるなど、就労に対する不安軽減に効果があった。ダイバーシティイマジェメント推進事業では、企業に女性活躍を取り入れるメリット、取り組み事例、助成制度を紹介するセミナーを開催し意識啓発を実施。また社会保険労務士などの専門家をアドバイザーとして派遣しハラメント研修などを実施、企業からは今後の取り組みの参考になったなどの声もあった。多様な進路選択支援事業では、市内の製造業の若手女性社員をパネリストに迎え、高校生に対し、仕事内容、今後やっておくと良いこと、製造業の魅力や地元で働く楽しさを伝えられた。

問

女河浦海水浴場の来場者数は。また、前年度比の増減及びその要因は。

答

平成29年度は4,631人で、28年度5,903人と比較し1,272人の減であった。悪天候などの要因がないことから、余暇の楽しみ方の多様化などで、利用者が自然減したと考える。

問

地元要望道路改良事業は計画的に執行されたか。成果と課題は。

答

要望のうち、道路施設に関する件数は325件で、要望書のすべての現地を確認し、緊急性、公共性、協力性などの観点から評価を行い、その中で優先度の高い187件について補修などの作業を実施した。主要望を修繕した場合の費用は約4億8千万円かかり、厳しい財政状況での予算対応では、主要望に对应えられない状況が課題である。

問

消防団員確保のための取り組みは。

答

募集チラシの全戸配布などの実施に加え、現役の学生が消防団に入団し活動に取り組む、地域社会に貢献した事を証明する「湖西市学生消防団活動認証制度」を開始した。また、7月にはフェイスブックの開設や、下半期から「消防団応援の店」制度の導入準備を進め平成30年4月から開始した。

問

自主防災会の資機材整備への補助内容は。

答

自主防災会資機材補助金を利用した自主防災会は、全60自主防災会のうち、40自主防災会で、チェーンソー、簡易トイレ、投光器、油圧ジャッキ、発電機などの資機材と、アルファ化米などの保存食料・飲料水を整備した。充足状況は、各地域などの状況によって必要な資機材は異なっ

問

不登校児童生徒適応教室事業の入室児童数が毎年増加傾向にあるが状況は。

答

入室児童は、平成27年度13人、28年度21人、29年度23人と増加傾向にある。不登校が中学1年生から2年生に多く、思春期特有の不安感や、学習難易度の劇的な変化などが要因と考える。当該事業は、自分のペースで学習をすすめたり、同じ悩みをもった友達との交流を深めることで生活リズムを整え、不登校の重篤化を防ぎ、高校生活や社会生活に繋げるなどの成果が出ている。



# 請願審査・意見書議決の結果

## 請願第1号

### 平成31年度税制改正における自動車関係諸税の抜本見直しを求める請願を採択

湖西市議会から国に対して次の項目について意見書の提出を求める請願が提出され、総務経済委員会へ付託。委員長報告の後、採択とした。

(請願の項目)

- 1 車体課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減をすること。
- 2 燃料課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減をすること。
- 3 地方への代替財源の確保を前提とした自動車関連諸税の見直し措置を講ずること。

#### 【「採択すべきもの」とする意見】

- ・湖西市においても自動車関連企業が多く、内容には賛同できる。
- ・自動車関係の税制については見直しが求められている。現在の生活において自動車は仕事や生活において必需品であり、当初の「ぜいたく品」であるからとの課税根拠は、もはや成り立たないと考えられる。

## 議案第105号

### 平成31年度税制改正における自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書を可決

(要約) 自動車は地方における生活の重要な足であり、自動車産業は地方の経済や雇用を支える屋台骨であること、加えて、高齢化社会においても、誰もが自由で安全な移動を享受するためには、最新技術が搭載された自動車が社会に普及することが不可欠であり、不条理な自動車関係諸税の「簡素化・負担の軽減」を求める取り組みは、住みやすい日本社会を維持し、持続的な発展を続けるために重要な取り組みである。

以上より、平成31年度改正は、自動車関係諸税の抜本改革を必ずや実現すべきと考え、以下の内容について要望する。

#### 記

- 1 車体課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減をすること。
- 2 燃料課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減をすること。
- 3 地方への代替財源の確保を前提とした自動車関連諸税の見直し措置を講ずること。

※あて先…内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

## 賛否が分かれた議案一覧表



議案番号・議案名	結果	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	高柳達弥	楠浩幸	佐原佳美	渡辺貢	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	豊田一仁	馬場衛	牧野考二	中村博行	神谷里枝	二橋益良
<b>議案第89号</b> 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○
<b>議案第96号</b> 平成29年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
<b>議案第97号</b> 平成29年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(二橋益良)は採決に加わらない。

そこが聞きたい!!

# 一般質問



一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。  
今9月定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。

湖西市公式サイト

ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<http://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市HP

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)

## 「こども110番の家」について現状と課題を伺う

▶▶▶十分に機能しているとは言えないため、自主整備による協力を依頼し啓発活動を実施する

●安心・安全まちづくりの体制整備について

問

「こども110番の家」について整備や広報が不十分と考えるが、現状と課題を伺う。

答

設置当初はその機能に期待が寄せられていたが、主体となる組織の構成員が毎年入れ替わる中、運営手段があいまいになり、新規登録者の拡大はもとより、実際には不在であるなど、既存の登録者の状況把握が困難になり、十分に機能しているとは言えない。

「こども110番の家」の再整備については、当面、県警察本部の取り組みに委ね、関係各課が連携し、理容組合などに代表される「自主整備による協力」を事業

所団体に依頼することで、「市民総見守り隊」のまちづくりに向けた啓発活動を実施したいと考える。

●公共施設再配置個別計画の進捗について

問

幼小中学校各教室へのエアコン導入が発表されたが、公共施設マネジメントとの関連をどのように検討されたか。

答

空調設備の種類、総事業費、維持管理費、設備導入の手法などを検証し、公共施設マネジメントとの関連を考慮して、無駄にならないように合理的な方法を探りたいと考える。



神谷 里枝



渡辺 貢

## 経営診断報告を受け、具体的改善策、改革プラン見直しのポイントは何か

▶▶▶医療提供範囲を明確にし、規模に見合った経営に取り組んでいく

●湖西病院の経営改革の現状と見直しについて

問

経営診断報告を受け、具体的改善策は何か。また改革プラン見直しのポイントは何か。

答

病床利用率の推移から必要病床数を決定することにより、当院としての医療提供範囲を明確にし、その規模に見合った経営に取り組んでいく。

経費削減の取り組みとしては、医療機器保守の一元管理・内容重視からコスト重視・使用状況における最適な契約内容などを見直し、医薬品と診療材料においては、購入の価格交渉を重視しコストダウンを模索している。



●旧東海道の歴史と文化を活かしたまちづくりについて

問

「夏目<sup>みかまる</sup>麿」没後200年を記念した事業について、どのように考えるか。

答

毎年、夏目麿公の命日となる5月5日に白須賀地区の有志の方々で組織された夏目麿顕彰会により顕彰祭が実施されており、2022年が麿公の没後200年にあたる。

顕彰会から没後200年に関連した事業についての情報はまだ聞いていないが、今後も顕彰会の皆さまと相談していきたい。



楠 浩幸

## SDGs達成に向けた取り組みについての実現性について伺う

▶▶▶ 次期総合計画などに仕組みを取り入れることができないかを検討していく

### ● 次期総合計画策定について

**問** 湖西市におけるSDGs達成に向けた取り組みについての実現性について伺う。

**答** 現在平成33年度からの次期総合計画の策定方針について検討を進めているが、その中で、例えば循環型社会の実現や地域経済の発展といった施策に、総合計画の目標としてSDGsの考え方や枠組みを活用したり、企業や市民団体と一層の連携をしていく方法を、様々な分野の方々の意見を伺いながら、研究していきたい。



▲SDGs、17の目標のロゴマーク

SDGsとは、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会を作るために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットから構成されている。

### ● 湖西市地域防災計画について

**問** 避難所ごとの避難所運営マニュアル作成の進捗はどうか伺う。

**答** マニュアルが必要な指定避難所15カ所のうち、浜名特別支援学校と岡崎中学校の2カ所については協議が整い、作成されている。他の13カ所のうち、10カ所が検討中、残りの3カ所については、協議の準備中である。

今後も、女性や高齢者、幼児や子どもの視点を取り入れ、要配慮者やペット同伴者など個別ニーズに対応できる内容のマニュアル作りを推進し、災害発生時に円滑な避難所運営ができるよう、地域の皆様と一緒に考えていきたい。

## 生活保護世帯のエアコン設置率を把握しているか

▶▶▶ エアコンの設置率は、約80%である

### ● 生活保護世帯のエアコン設置について

**問** 生活保護世帯のエアコン設置率を把握しているか。把握していれば設置率を伺う。

**答** 平成30年8月末日現在、市内には128世帯の被保護世帯があり、施設や病院への入所者49世帯を除いた79世帯が自宅やアパートなどで生活している。6月27日に厚生労働省からエアコン設置に関する通知が发出されてから、訪問や来所などにより現在65世帯のエアコン設置状況を確認しており、52世帯が設置済、13世帯が未設置であり、エアコンの設置率は、約80%である。

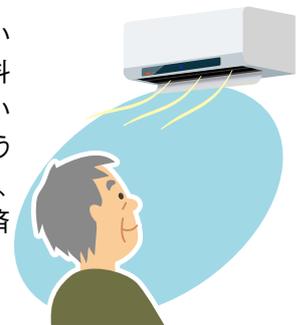
### ● 学校健診は役割を果たしているのか

**問** 歯科・眼科・内科の科ごとの要治療者・治療済み・治療中の数は。

**答** 市内小・中学校の平成29年度において要治療と診断された児童生徒は、歯科1,354名、うち1,144名が治療を済ませている。眼科については要治療者が366名、うち325名が治療済みで、内科については、要治療者が151名、うち143名が受診済みである。



荻野 利明



## エアコン導入について、その検討経緯と方針を変更した理由は

▶▶▶ 災害レベルの猛暑に対し早急な学習環境の改善が必要と判断した

### ● 幼小中学校のエアコン整備事業の前進しについて

**問** エアコン導入について、その検討経緯と方針を変更した理由を伺う。

**答** 7月中旬以降の記録的な高温は、全国でも熱中症事故が多発するなど、6月の時期とは状況も変わり、災害レベルの猛暑となった。早急に児童・生徒の健康を保護しなければならない状況、さらに、学習環境を改善しなければ、学習活動に支障を招きかねない状況になっていることから、エアコンを導入することが必要と判断した。

**問** 市長の教育に対する基本的な考え方と教育環境の整備に対する具体的な指針を伺う。

**答** 湖西市に住みたい、住み続けたいと思っていただけるようなまちづくりを目指して、「子育て支援の充実」を掲げている。具体的には、子育て環境を整え、子どもを預けて安心して働けるという状況を実現するため、まずは、こども園化を加速させる取り組みを進める。また、今年10月からは高校生の医療費を無料化するなど、子育て支援の充実に向け、さまざまな事業を着実に進めていきたい。



福永 桂子





菅沼 淳

## 湖西病院の経営状況を病院職員、市職員全体で共有しているか

▶▶▶ 市職員全体の課題として捉え、意識を高めていくことが大切と認識している

### ●湖西病院事業会計における基準外のいわゆる「営業助成」について

**問** 湖西病院の経営状況を病院職員、市職員全体で共有しているか。

**答** 繰出金縮減は、財政運営上、重要な課題であり、市職員全体の課題として捉え、意識を高めていくことが大切と認識している。病院では、病院経営会議などで説明や協議を行っている。市では、幹部会議で四半期ごとに病院経営状況の報告を受けている。また、各種予算編成説明会などの機会を捉え、市財政状況を説明する中で、病院経営状況についても周知している。さまざまな機会で情報共有を図ってきたい。

**問** 次年度のいわゆる「営業助成」の削減計画は。

**答** 費用削減として、提供医療に即した人員配置の適正化や委託業務の見直し、薬品・診療材料の購入価格交渉により経費の削減に努力しており、一定の成果が見込まれる。収入増として、6月開始の眼科白内障手術は順調だが、常勤医の高齢化、退職希望など不安定要素があるため見込みが立てにくい。経営改善を推進し前年度を下回る金額となるよう努力する。



▲湖西病院

## 市として積極的に病院へ関わっていく考えはあるか

▶▶▶ 医師の確保に向けて、浜松医科大学へ出向くなど、連携しながら経営改善に取り組んでいる

### ●市立湖西病院の改革について

**問** 改革に向けて病院だけでなく、市として積極的に関わっていく考えはあるか。

**答** 改革プラン評価検討委員会は副市長が委員長であり、現状と課題を把握し、今後の経営改善の進展に力を注いでいる。また、医師の確保に向けて、病院事業管理者などとともに何度も浜松医科大学など各方面へ出向くなど、連携しながら経営改善に取り組んでいる。

**問** 一般地方独立行政法人などに経営形態を変えるつもりはあるか。

**答** 一般地方独立行政法人は、組織、人事などについて、事業計画・予算などの範囲内で弾力的な対応が可能になるなど、メリットもあるが、退職給与引当金計上により短期的に多額の負担が発生し、債務超過の解消が困難となることや、地方債による資金調達不可などのデメリットもある。他の経営形態への変更も視野に入れているが、現在のところ経営形態を変更する予定はない。



中村 博行



## 利用者が伸びていない理由は

▶▶▶ バス停が遠い、運行本数が少ない、乗り継ぎが悪いなどの意見をいただいている

### ●湖西市地域公共交通(コーちゃんバス)について

**問** さまざまな対策が取られているが利用者が伸びていない理由と問題は。

**答** 理由として、市民からはバス停が遠い、運行本数が少ない、乗り継ぎが悪いなどの意見をいただいている。解消のためには今以上の予算投入が必要だが、国庫補助金も毎年削減され、市の財政事情も厳しいことが問題であり、バス停の移設・増設、買い物施設への路線の延長など、経費を掛けずに改善を行っている。

**問** 住民の利便性やコスト削減のため、交通体系を見直すべきと考えるがどうか。

**答** コーちゃんバス運行のみではなく、住民の利便性の確保やコスト削減のため、交通体系の見直しは、必要なことだと考えている。現在、好評をいただいているデマンド型乗合タクシーの地域拡大などを図り、利便性を確保しつつコストを削減し、より良い交通体系を構築するよう検討したい。



高柳 達弥



▲コーちゃんバス



牧野 考二

## 浜名湖競艇企業団からの配分金をどのような事業に充てているか

▶▶▶ 主に教育費、土木費、消防費に充当させていただいている

● 浜名湖競艇からの配分金の用途について

**問** 湖西市は浜名湖競艇企業団からの配分金をどのような事業に充てているか。

**答** 浜名湖競艇企業団の規約目的が、社会福祉の増進、医療の普及、教育文化の発展、スポーツの振興、その他住民の福祉の増進を図ることとなっているため、主に教育費、土木費、消防費に充当。平成29年度の主な事業は、新居小学校南校舎屋上防水工事、鷺津小学校北校舎多目的トイレ設置工事、小中学校給食備品の更新、新所原駅周辺まちづくり事業、浜名湖西岸土地区画整理事業、地元要望道路改良事業、住吉地区命山と日ヶ崎津波避難タワーの整備、高規格救急車の更新などである。



▲ 浜名湖競艇

● 太陽光発電事業に対する市の考え方について

**問** 地元トラブルなどに対して、現在の指導、対応は。

**答** 現在、事業面積3,000平方メートル以上の案件に、市土地利用事業の適正化に関する指導要綱による行政指導などを実施。指導対象外の小規模施設は、事業者から個別相談もあるが、全ての把握は難しく、指導に限界を感じている。平成30年度に県エネルギー政策課にて、モデル的なガイドライン作成の動きがあり、本市も、その県下検討会議に参画し、得た情報を基に指導を行っていきたい。

## 児童虐待防止対策に向けた市長の方針は

▶▶▶ 対応窓口の充実を主な事業として掲げている

● 児童虐待防止について

**問** 児童虐待防止対策に向けた市長の方針は。

**答** 対応窓口の充実を主な事業として掲げ、現在は、子育て支援課に男女各1名の社会福祉士の配置をしている。また、県西部児童相談所や湖西警察署などの関係機関で構成する湖西市要保護児童対策地域協議会の実務者会議を毎月1回開催し、情報の共有と支援について協議している。虐待防止に向け、関係機関との連携の強化を図っていきたい。

● 子どもを犯罪から守る安全対策について

**問** 不審者侵入対応マニュアルの作成は、防犯訓練の実施状況はどうか。

**答** マニュアルは、全ての園・学校で作成し、毎年内容を点検、より多様なケースに対応するため改訂を重ねている。防犯訓練も、全幼稚園・保育園・小中学校で実施。より実践的とするため、湖西警察署の協力を得ながら、職員の対応や園児及び児童生徒の安全を確保するための手立ての確認をし、課題を洗い出し改善を積み重ねている。



馬場 衛



佐原 佳美

## ハザードマップを最新版に更新し周知する考えは

▶▶▶ 毎年の印刷は難しいため、広報こさいやウェブサイト上で公表・周知している

● 防災・減災対策の強化について

**問** 平成26年に作成されたハザードマップを最新版に更新し、再度市民に周知して防災・減災対策を啓発・推進する考えはないか。

**答** ハザードマップには津波浸水深と土砂災害の危険箇所・土砂災害警戒区域などを掲載している。警戒区域は、ほぼ毎年更新があるため印刷し直すことは難しいが、平成26年以降に新たに警戒区域に指定された区域では説明会を開催しており、それ以外の市民に対しては広報こさいやウェブサイト上で公表し、周知している。

**問** 危険ブロック塀の撤去にかかる費用の補助は現在最高10万円であるが、通学路などでは対策が急がれる。補助の増額を検討してはいかがか。

**答** 過去5年間の申請の82%が限度額内の申請であり、県内35市町のうち29市町が上限額を10万円に設定している。ブロック塀所有者に対して補助制度などの周知を図り、撤去を促していきたい。





土屋 和幸

## 障害者への虐待事例が発生した場合の動きは

▶▶▶ 厚生労働省の手引きに沿って対応している

### ● 障害者への虐待防止について

**問** 障害者への虐待事例が発生した場合の障害者虐待防止センターの動きは。また、市民に対しての周知方法は。

**答** 厚生労働省の手引きに沿って、通報などの受付、訪問調査などによる事実確認、ケース会議の開催、状況に応じた支援という流れで対応し、必要に応じて警察への援助要請なども行われる。周知はウェブサイトには障害者虐待の担当部署や虐待の種類・事例を掲載している。



**問** 虐待を早期に把握する方法や、障害者・保護者が被害について声を出す方法の検討は。

**答** 障害者本人や保護者とかかわりの深い特定相談事業所や障害者相談支援センターみなづきと連携し、情報収集している。また、民生委員からも情報提供に協力いただいている。

## 障害児とその保護者、生活困窮家庭、ひとり親家庭に対する相談体制は



竹内 祐子

▶▶▶ 各担当部署が連携して対応する

### ● 児童虐待の現状と対策について

**問** 障害児とその保護者、生活困窮家庭、ひとり親家庭に対する相談体制と課題は。また、妊娠期からのワンストップ窓口をつくる考えは。

**答** 各担当部署において児童虐待の恐れがある相談を受けた場合には連携して対応する体制をとっている。関連部署は、情報共有や支援について連携を密にしており大きな課題はない。ワンストップ窓口は、子育て支援に係る部署の一元化の検討とあわせて考えたい。

**問** 虐待を受けた子どものケアについて、教育委員会の対応は。現在の対応状況における課題は。

**答** 家庭児童相談室や西部児童相談所と情報共有を図り、事後の状況を把握するとともに、園や学校にも情報提供して見守りを継続しており、状況に応じてスクールソーシャルワーカーや家庭児童相談員、スクールカウンセラーなどの協力も得ている。課題は、通報を契機に保護者などが警戒し、その後の状況が見えにくくなる懸念があることだが、現在は見守りの徹底により順調に進捗している。



吉田 建二

## 広報部門と広聴部門の所管を分けた理由は

▶▶▶ 観光事業などの情報発信力強化のため広報部門と観光部門を統合した

### ● 広報・広聴活動の充実に向けて

**問** 平成30年度から、広報は観光交流課、広聴は企画政策課と所管が分かれたが理由は。所管を移した成果はあったか。

**答** 市外に向けて、湖西市をPRしていく観光事業とシティプロモーション事業の情報発信強化のため、広報部門と観光部門を統合した。成果の一例として、おいでん祭においてふるさと大使の委嘱式を行った際には市や大使からの事前の情報発信により、遠方から多くの方にお越しいただき、湖西市を知っていただくことができたと考えている。

**問** 広聴活動で市民から寄せられた意見等はどのようなものであったか。それをどのように反映させたか。

**答** 平成29年度はふれあいポストに120件、アイデアBOXに53件の意見をいただいた。内容としては、提案53件、苦情32件、問い合わせ11件、通報8件、その他69件である。いただいたご意見を無駄にすることがないよう、事業実施や施策検討の際には必要性・緊急度・財源など総合的に判断した上で可能なものは即時対応している。



▲アイデアBOX

より良い湖西市を目指して、先進的な取り組みを行っている他自治体などへ視察を行いましたので、報告いたします。



## 議会運営委員会 7月9日～10日

### ●視察先：京都府長岡京市議会 ●目的：議会改革の取り組みについて

平成24年に議会基本条例を制定。2年ごとを1期とし、条文に沿った議会改革の検討項目を整理。議会運営委員会を中心に議員政策研究会の設置や親子議場体験ツアーなど、新たな改革に取り組まれていた。

議会の機能を発展させるため、新たな課題を順次引き継ぐことにより、理念条例である議会基本条例の具現化に向けた努力が確実に進められていることに感心した。



▲京都府長岡京市にて

### ●視察先：滋賀県米原市議会 ●目的：議会基本条例の推進と検証について

平成25年に議会基本条例を制定。制定後は各種団体との意見交換会の実施、議員定数を18名に減員、小学生によるこども議会の開催など、多くの改革を推進。

また議員任期の4年を単位として検証の項目及びチェックシートを作成し、全議員で検証作業が行われていた。取り組みの評価や次期へ引き継ぐための課題整理は、継続的に議会改革を進めていく手法として参考にした。

## 福祉教育委員会 7月18日～19日

### ●視察先：富山県魚津市 ●目的：教育施設の統廃合について

魚津市は人口4万2千人で少子高齢化が進行しており、それに伴う課題に対処するため小学校の統廃合を繰り返し、当初の13小学校を平成35年度までに4校に統廃合する計画である。

住民との合意形成が成され、成果を上げているのは、“市の目指す学校教育の姿”が「魚津市学校規模適正化推進計画」で明確にされており、その基本的事項4つの柱の実践は大変参考となった。また、住民の統廃合への懸念を払拭するために、「統廃合」や「財政事情」などを考慮し、“子どもの学習環境の更なる充実”を市民に丁寧に説明し理解を得たことは統廃合を進める上での要点だと実感した。



▲富山県魚津市にて

### ●視察先：富山県南砺市 ●目的：地域医療再生の取り組み事例について

南砺市は面積668km<sup>2</sup>、人口約5万1千人（高齢化率37%）で、住民と一体となって地域包括ケアシステムの基盤づくりを進めている。

地域包括医療・ケアの提供には人材養成講座が重要と考え、早くから実施し、その受講者を中心に“支え合いのまちづくり”に進展し、現在は小規模多機能自治の取り組みと連携させている手法からは学ぶことも多いと考える。また、地域医療・介護の連携強化のために柔軟な行政の組織改編、市立病院の医師不足対策に総合診療科を設置するなど、積極的に取り入れていく必要があると思われる。

# 視察の成果を市政に生かします

## 地域医療等対策特別委員会

7月30日～31日

- 視察先：茨城県阿見町・筑見区自治会
- 目的：地域包括ケアシステムの取り組み・地域住民の助け合い運動について

大学の医療機関が町内に2施設あり、人口10万人当たりの医師数は県内第2位と恵まれ、大学との連携により在宅医療や介護予防・支援などの取り組みが進んでいた。また地域包括ケアリーダーやシルバーリハビリ体操指導士の養成講座など地域住民の人材育成への取り組みは、地域包括ケアの人材養成・確保において見習いたい。

筑見区自治会では、平成23年3月に「筑見福祉計画(ガイドライン)」を策定。「共助の精神」のもと、住民みずから送迎支援システムやふれあい館などを企画運営されていた。



▲茨城県阿見町・筑見区ふれあい館にて

- 視察先：茨城県土浦市
- 目的：在宅医療と介護の連携について

多職種連携の組織づくり、地域リーダーの育成や在宅療養の実態把握など福祉施策を推進するため、行政と社会福祉協議会が車の両輪のように分担運営されていた。また在宅医療・介護連携事業拡充に向け、市組織を再編し新たな地域支援事業に対応した積極的な取り組みは大いに学ぶべきと感じた。

医療・介護の施策の充実は喫緊の課題と捉え、市当局へ提言していきたい。

## 広報広聴特別委員会

8月10日

- 視察先：愛知県岩倉市
- 目的：市民意見交換会、議会改革の取り組みについて

岩倉市議会は「外国人ママとのお団子トーク」や「若者とのおむすびトーク」など大変ユニークなネーミングによる市民との意見交換会を開催しており、市民目線で参加・発言しやすい環境づくりに取り組まれており大いに参考となった。また、意見交換を行う団体は各種団体からの申し入れや、全議員対象の議会基本条例推進協議会での選定を行っているとの事であり、湖西市議会も市民との意見交換会開催方法を明確にしておく必要性を感じた。



▲愛知県岩倉市にて

# 市議会からのお知らせ

## 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/18	19	20	21	22 10:00~ 本会議第1日	23	24
25	26	27	28	29	30	12/1
2	3 10:00~ 本会議第2日 (一般質問)	4 10:00~ 本会議第3日 (一般質問)	5 10:00~ 本会議第4日 (一般質問)	6	7 10:00~ 本会議第5日	8
9	10 10:00~ 総務経済 委員会	11 10:00~ 福祉教育 委員会	12 10:00~ 建設環境 委員会	13	14 10:00~ 本会議第6日	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

## 議会だよりを スマホでも!

「マチイロ」を使えば、「こさい議会だより」をスマートフォンで読むことができます。



### 利用方法 (※別途通信料が掛かります。)

- ① 右のQRコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



## 政務活動費の 報告について

平成29年度の湖西市議会政務活動費に関する書類を、つぎのとおり閲覧することができます。

閲覧日時 午前8時 30 分から午後5時 15 分まで (土日、祝日、年末年始を除く)

場 所 湖西市議会事務局 (市役所3階)

対 象 収支報告書などの写しや主要な調査研究活動の内容を記載した書類など

※議員ごとの収支報告の概要は、市ウェブサイトへ掲載しています。

## ………議会傍聴に来ませんか?………

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局 (TEL.053-576-4791) へお気軽にお問い合わせください。

傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧ください。

### ▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウィンディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウィンディ」で放映されます。

### ▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送 (生中継・録画) を市のウェブサイトからご覧になれます。

注目



## 編集後記

太鼓の音色も消え、秋の深まりを感じるこの頃。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。いつも議会だよりを読んでいただき、ありがとうございます。議会と市民の皆さまを結びかけ橋になれるように、今号は、総務経済委員会と農業振興協議会との対談を特集として掲載いたしました。表紙の写真は特集に合わせて市内の農作物を撮影したものです。この場を借りて撮影にご協力をいただきましたことをお礼申し上げます。今後も紙面の充実に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。(竹内 祐子)

## 編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

- ◎ 二橋 益良 ○ 竹内 祐子
- 福永 桂子 菅沼 淳
- 土屋 和幸 高柳 達弥
- 加藤 弘己

次回は

➔ 1月31日 発行予定です

